

Wax Breaker

MGO・MDO用 低温流動性改善型燃料油添加剤

Wax Breaker は、MGO・MDO用の低温時における流動性を改善する燃料油添加剤です。流動性の改善効果により、低温時における燃料タンク内での燃料油の固形化を抑制して、エンジンルームまでの燃料油輸送をスムーズにするなどの効果を発揮します。

性 状

- 外 観 : 淡黄色～淡褐色液体
- 動 粘 度 : 20～30 mm²/s @50℃
- 密 度 : 890～920 kg/m³@15℃
- 引 火 点 : 66 °C (PM法)
- 主 成 分 : 界面活性剤、高分子材料、石油系溶剤

特 性

冬季または温暖な地域から寒冷地に航海する場合には、燃料油タンク内の温度が低温になることにより、低温流動性が悪い燃料油(下写真参照)は固形化して燃料油ポンプで移送できなくなる場合があります。Wax Breakerは、低温時における燃料油トラブル(燃料油タンクや配管内での固形化など)の予防・対策を目的とした低温流動性改善型燃料油添加剤です。特性および効果は、以下のとおりです。

● 流動性(目詰まり点、流動点)の改善効果

Wax Breakerによって、種々のMGOやMDOの流動性が大幅に改善されます。(下図参照)

標準添加率は 1/2000添加となりますが、場合によっては燃料油量に対して 1/2000～1/500(推奨添加率)添加することにより、目詰まり点の改善効果が期待できます。



低温流動性が悪い燃料油
(高流動点の燃料油)



上記トラブル油に
Wax Breakerを添加

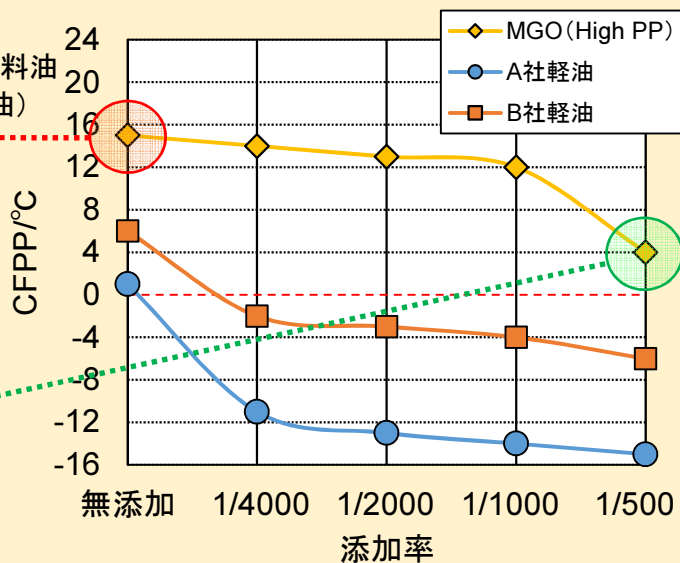


図. 燃料油の流動点と添加率の関係

(裏面もお読みください。)

 日本油化工業株式会社

使用方法

- Wax Breakerを燃料油量に対して標準添加率 1/2000添加することにより、種々のMGOやMDOの低温流動性(目詰まり点、流動点)を改善することができます。
- ※ 燃料油の種類によっては、燃料油量に対して 1/2000～1/500(推奨添加率)添加してください。
- Wax Breakerを添加する場合は、補油時または燃料油が固まる前(十分に流動性がある液体状態時)に行ってください。
- ※ Wax Breakerは、燃料油固形化の抑制剤です。既に固形化した燃料油を再溶解することは出来ないため、添加する場合は低温により固形化する前に燃料油と混合するように注入してください。
- Wax Breakerは燃料油との混合性が良好ですが、予め補油前の燃料油貯蔵タンクにWax Breakerを投入し、その後に補油することで、より混合が促進されます。

使用上の注意

- 引火性がありますので火気に注意して下さい。
 - 防護眼鏡・マスク・耐油性手袋等の保護具を着用して下さい。
 - 応急処置
 - ・ 目に入った場合は直ちに多量の清水で15分以上洗って下さい。
 - ・ 皮膚に付着した場合は石鹼水でよく洗い皮膚用クリームを塗って下さい。
 - ・ 蒸気を吸った場合は新鮮な空気のある場所に移し、身体を保温して下さい。
- * 状況に応じて医師の診断を受けて下さい。

保管上の注意

- 火気厳禁
 - 冷暗所に保管
 - ・ 50℃以上の高温や0℃以下の低温での保管は避けて下さい。
- * 0℃付近で保管すると一部凍結する恐れがあります。その場合は、一度室温に戻してから使用して下さい。

荷 姿

- | | 重量(kg) | 寸法(WxDxH,cm) |
|--------------|--------|------------------|
| ● 200 L ドラム缶 | 201.5 | φ58.5 x 89 |
| ● 18L 石油缶 | 17.4 | 23.8 x 23.8 x 35 |



関連法規

- 消防法： 危険物第4類 第2石油類 危険等級Ⅲ